

ヒストリックカーミーティング in 知多・渥美

Historic Car Meeting



中部国際空港の自動車場に設けられたゲートをくぐって、全車スタート。ドライバーと乗客が楽しんだヨタ2000GTII。ピニターコ・コシノの芳野社長。

HISTORIC CAR MEETING IN CHITA ATSUMI

春爛漫も知多半島から渥美半島にかけて ラリーイベントでクラシックカーが疾走!

● 2011年5月7日 / 愛知県知多半島・渥美半島 三河湾周辺
● 主催 / ヒストリックカーミーティング実行委員会
<http://historiccarmeeting.com/index.html>

文 & 撮影 = 編集部

written & photographed by NOSTALGIC HERO

スタート地点に集まった参加車両は、コスモスポーツやブルーバード、TE27レビンといった国産車から、ボルシェ、フェラーリ、ランボルギーニなどの輸入車が約50台。中には、アルファロメオのコンロ、オスカ-MT4 2AD、モレティ750スペシャル、フィアットセイチェント チシタリアといった日本ではめったにお目にかかれぬような珍しいクルマも参加していた。また、エントラントの中には、ヘアで往年のレーシングドライバーを思わせるレーシングスーツにゴーグルといったコスチュームで参加するオーナーも。

3回目の開催となる「ヒストリックカーミーティング」知多・渥美が、春の青空の下、知多半島から、渥美半島を横断するルートで、チャリティーラリーイベントとして開催された。今回のスタート地点は、中部国際空港(セントレア)臨時駐車場。朝の7時30分から受け付け、車検が始まり、ルーブリックが配られ、ミーティングの後、9時にスタート。いきなりCP競技が行われ、その後はえびせんべいの里(スタンプポイント)、美浜サーキット(CP競技)、豊浜漁港(CP競技)で午前中を終了。エントラントのみさんんは師崎港からフェリーに乗り、山田シエ

フ特製の三河湾クルーズランチを楽しみながら、伊良湖港に到着し、渥美半島を走る午後の部がスタート。ニュー渥美観光(スタンプポイント)、宇津江海岸(CP競技)、宇津江漁港(スタンプポイント)、蔵王山山頂(スタンプポイント)、港湾技能研修センター(CP競技)でタイム競技を終え、ホテルシーバレスリゾートのゴールに向けて快走。スタンプポイントや沿道では、地元の人々が温かく出迎えてくれて、印象が走る姿に声援を送っていたのが印象的だった。今回は、10月11日、志摩スベイン村での開催が決定した。

中部国際空港から スタート!



「えびせんべいの里」



スタンプポイントでは、通行証明のスタンプをオフィシャルに押してもらおう。これがないと減点となる。名産品などのおもてなしも参加者の楽しみ。

美浜サーキットでCP競技



ラリーの競技としては、PC、CO、スタンプポイントなどが設置されていて、いかに正確に走行できるかを競う。1/1000秒単位で誤差が計測され、ラリーを通じて、誤差が小さいほうが上位になる。美浜サーキットではPC競技が開催され、1台ずつスタートラインからゴールラインまでタイムを計測しながら走行した。もちろん、サーキットということもあってかなり全開モードになって、名車たちの独特のエキゾーストノートが響き渡った。



豊浜漁港にて CP競技



知多半島の風景を楽しみつつ、次のCP競技の会場、豊浜漁港に到着。CP競技が始まるまで、ちょっとした休憩タイムとなり、クルマ談話があらここで開かれた。

カーフェリーにて三河湾クルーズ



エントラントのために、貸し切りとなったカーフェリーの特別便。船内では「山田シェフ特製 三河湾クルーズランチ」を楽しむ。伊良湖港に到着。フェリーから出たところから、渥美半島で競技がスタート。

再スタート! 海岸沿いを疾走

渥美半島の最初のステージでは、海沿いの真っすぐな道を気持ちよく快走。カメラを向けると、手を振ってくれたり、ハッシュングしてくれたりするので、見る側も楽しめる。エントラントは愛知や関西方面のものが多く、長野、岡山、神奈川県、東京都など遠方からのエントラントも多いのが特徴。速さを競うイベントではないため、ピリピリの雰囲気もなく、旧車を走らせることを楽しめるイベントになっている。



海外沿いのワインディング でシークレットCP競技



休憩の後、海沿いの道を走っていると、突然現れるシークレットCP競技。これは通常のCP競技と違い、ある区間を指定された速度で走行し、所要時間を競う競技で、区間距離などが秘密にされている。Ave.30m/hαでの、全車スロー走行。

ニュー渥美観光



午後の最初のスタンプポイントとなった「ニュー渥美観光」では、地元のみさんによるおもてなしも堪能。この頃には、太陽がまじり始める。絶好のドライブ日和となった。ここからは、ゴールに向かって、CP競技が待ち構えている。

宇津江漁港



シークレットCP競技の先にはスタンプポイントでひと息。この先には、奇麗な山場となる曲がりくねったワインディングコースが待っている。

ゴール! ホテルシーバレスリゾート



港湾技能研修センターで最後のCP競技を行った後、ホテルシーバレスリゾートでゴール。各クラスの結果は、Jクラスはトヨタ2000GTの森田さん、Aクラスはアルファロメオジュリエッタマイダの磯部さん、BクラスはMG Aの宮川さん、CクラスはジャガーEタイプ佐野さんが優勝した。

ワインディングコースを堪能



蔵王山山頂に向かうワインディングは、かなりの急坂で道幅も狭い。ヘアピンカーブが連続する区間もあり、旧車にはかなり辛いステージ。しかも、シークレットCP競技もあった。